

オンライン 面接セミナー



はじめに

このテキストは、横浜新卒応援ハローワークが主催するセミナー用として作成されています。このテキストの一部または全体を、横浜新卒応援ハローワークに無断で転載または複製することは、法律で禁じられています。

オンライン(WEB)面接とは

オンライン面接とは、インターネットの音声電話やテレビ電話機能を利用して行う面接形式のことを言います。

・オンライン面接が普及した背景

オンライン面接は、日本では2010年頃から導入する企業が増えてきたと言われていますが、主に転職市場が中心でした。

新卒者等の就職活動も含めて、オンライン面接を導入する企業が増えているのはなぜでしょうか。インターネットでの会議がSkypeなどの普及により定着したことやグローバル化、人材獲得競争の激化があります。その上で、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大によって、物理的に人の移動が制限されたことが転換点となりました。

オンラインツールの種類

- ① Web 会議システム…物理的に離れた相手と音声やビデオ通話でコミュニケーションするためのツール
★ Zoom Meetings／Google Meet／Microsoft Teams／Skype／Whereby など
- ② ビジネスチャット…主に文字を使ってネットワークを介してコミュニケーションするためのツール
★ LINE WORKS／Slack など
- ③ ウェビナーツール…セミナーをオンラインで受講（配信）するためのツール
★ Zoom Webinar／Cocripo など

ウェビナー（Webinar）は、ウェブ（Web）とセミナー（Seminar）を組み合わせた造語です。Web セミナーやオンラインセミナーとも呼ばれます。インターネット上で行なわれるセミナーそのもの、またはインターネット上でのセミナーを実施するためのツールを意味します。

・オンライン会議とテレビ会議の違い

テレビ会議：電話のように回線をつないで連絡が取れます。比較的接続が安定しているため、役員会議やグローバルカンファレンスなど大規模またはフォーマルな状況で使われることが一般的です。入社後に使う可能性があります。

オンライン会議：通信をインターネットに依存するため、通信が不安定になるリスクがあります。しかし使用場所を問わないため、在宅ワーカーや外出が多い営業職など、少数人数ミーティングを想定した個人的利用に向いています。

事前準備について

1. システム環境・室内環境整備

・システム環境

① インターネット帯域の確保

Zoomの場合、最低でも1.5Mbpsが必要

画像を高画質にしたい場合は3.0Mbpsが必要

自宅に有線LANケーブルがあればベストですが、Wi-Fi環境ならばルーターの近くで通信しましょう。ウェブでインターネット回線の簡易速度テストを試しておくのも安心です。

安定したデバイス環境で行うことが、オンライン面接の必須条件です。

② ハードウェアの確保

パソコン／スマートフォン／タブレット

しっかり固定できるグッズ

必要に応じてマイク／イヤホン

周囲の騒音が気になる場合は、イヤホン・マイクがあると安心です。

・室内環境

① 明るく静かな場所を選ぶ（日中でも蛍光灯を点ける）

② 逆光にならない場所を選ぶ

③ 家人・ペットがいる場合はなるべく音を立てないように伝える・工夫しておく

PC用ライトがなくても、机に白い紙や布を敷くと多少の反射効果が望めます。

面接本番までの流れ

<前日まで>

- ・ 室内環境やオンライン環境のセッティング
 - : PC（スマートフォン）設置位置確認
 - * 上半身が映る距離にセッティングしましょう
 - * 映し出される背景にも気を配りましょう。
 - : オンラインツールの確認
 - * オンラインツールのインストール（登録）や動作確認をしましょう
 - : 画面明るさ、映り方チェック
 - * カメラと目線の位置を確認しましょう
- ・ 企業からの招待メールの再確認
開始時間や流れ、ログイン方法など確認しましょう

<面接当日>

- ・ バッテリー残量確認
- ・ 自宅周辺の環境確認（工事の音など）
- ・ 接続確認
- ・ 面接に不要なソフト・アプリの非通知設定
 - * スマートフォンの着信音・バイブレーターOFF
 - Zoomの着信拒否
[設定] → [通知] → 「Do not disturb／着信拒否」
「通知を一時停止」 → 停止する時間を設定
- ・ 開始 10 分～5 分前にログイン
 - * 通話せず待機
 - * 音声はミュートでも可



面接開始時間が過ぎても始まらない場合は、チャット機能を使い、「準備ができました。本日は宜しくお願ひします。」などメッセージを送り、応答を待ちましょう。ただし、オンタイムで企業から着信を受けたら、そのまま進めましょう。

面接終了時は、お礼した後に企業が通話を切るのを待ちます。企業から先に切断（退出）するよう指示があれば従いましょう。

トラブル時の対応

途中で回線が切れたからといって、面接結果には直結しません。むしろ、その際の対処次第では好印象を持たれる可能性もあります。慌てずに済むよう対策を講じておきましょう。

<対策>

- ・ 電話連絡先をメモして机に置いておく
- ・ 回線が切れた場合の復旧や確認方法について予め調べておく

面接中に自宅外で大きな音が鳴った場合（救急車が通過した）など、あなたならどのように対処しますか？

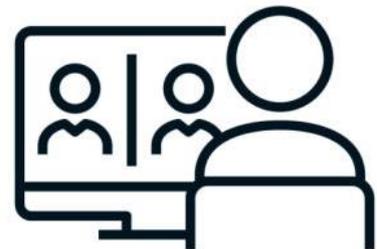
オンライン（WEB）面接のメリット、デメリット

<企業側の導入メリット>

- ・ コスト削減
- ・ 母集団、応募層の広がり
- ・ 遠方者との接点が増える

<応募者側の利用メリット>

- ・ 就活コスト削減
- ・ 安心感（自宅の場合）
- ・ デジタルスキル、デジタルマインドのアピール



<企業側／応募者側で共通するデメリット>

- ・ ミスマッチが起きる可能性が高まる
- ・ ミスコミュニケーション
- ・ 見極めの情報不足

特にデメリットについては、両者ともに共通しますが、最大のデメリットは、「温度」を感じられないことです。この場合の温度とは、熱意、情熱、思い入れの強さ、確信・自信度など人柄を示す重要な非言語コミュニケーションのことです。また、応募者側としては、実際に会社を訪れることで得られる企業の日常の情報（様子）や働くイメージを得られない点があります。

対面できないと「インフォーマルな情報」が不足するため、より一層の情報収集や想像力の発揮が求められます。

特に注意する点

●目線

PC やスマートフォンの画面上では、目線が合いづらいため、アイコンタクトによるコミュニケーションが困難になります。目を合わせるためには、カメラの周辺に目線を送ります。凝視する必要はないので、適度に画面⇒カメラと目線を動かしましょう。

●表情

オンライン面接ではマスクは不要のため、現在の対面式面接より表情による感情が表現しやすい反面、物理的に離れているため同じ効果は見込めません。普段より顔の筋肉を大きく動かす意識で話しましょう。

●語気

「語気」とは、話すときの言葉の調子や勢いのことです。オンラインでは単調に聞こえる傾向が強まります。声の大きさだけでなく、一語をはっきりと発音する、抑揚をつけるなどより一層の工夫が必要です。

オンライン（WEB）面接の特徴を理解して、
対面と変わらぬパフォーマンスが発揮できるよう
取り組みましょう！